

第5回地域健康医療支援センター整備検討庁内ワーキング会議

平成22年 5月25日

掛川市役所4F会議室6

- 15:30 1. あいさつ
- 15:33 2. 5/18センター職員のワーキングの進行状況説明（松下室長）
- 15:40 3. 本日のワーキングの目的、目標の説明（佐藤）
- 15:42 4. 検討事項
- ①支援センター職員配置と勤務体制について（業務の応援体制）
 - ・センター運営日、運営時間の予定と職員体制検討案について説明
(松下室長)
 - ・それぞれの案に対する良い点、問題点をあげていってもらおう。
 - ②話し合った結果を見て、どの案が良いか討議。ワーキングとしての案を決定する。
- 16:00
- 16:10 各課でセンターにおけるケースワークについて不安に思っていること、実際にあったトラブルなどをあげてもらおう。
- 16:25 5. その他
- ・ヒアリング状況とマニュアル作成について
前回センター業務として検討いただいた表で削除する部分等が出てきましたので、修正してお渡しします。
 - ・次回までに各課各係で検討してきてほしいことについて
 - 各課の困難事例等への取り組みや課題について
相談支援のフローチャートについてのご意見をとりまとめてください。
 - ※次回、相談の流れや関わる部署の検討を行います。
 - ・マニュアル作りのための資料をいただきに廻りますので、担当者の方にお伝えください。制度説明のできるだけわかりやすいパンフレットもいただきたいと思います。（マニュアルは作成できたものから提示し、みなさんにご検討いただきたいと思っています。）

次回庁内ワーキングは、6月7日（月）15:30～16:30 東3F応接室です！

第5回（仮称）地域健康医療支援センター整備検討庁内ワーキング会議検討事項報告

平成22年 5月25日
掛川市役所 4階会議室6

- 15:35 1. あいさつ（省略）
- 15:35 2. センター職員のワーキングの進捗状況説明（松下室長）
- ・レイアウト検討中…駐車場の問題が大きい。土足の方向で検討しているが、看護協会にご協力いただくこともお話がある。
 - ・往診のバックアップ体制などまだ検討しなければいけないと考えている。
 - ・センターの名称について検討中。公募の予定である。
- 15:40 3. 本日のワーキングの目的、目標の説明（佐藤）
- （目的）①センター運営のイメージを共有し、職員体制案の「良い点」「問題点」を話し合う。
②センターにおけるケースワークに対する「不安」を出し合う。
- （目標）①センター運営日、じかん、職員体制について、庁内ワーキングとしての案を決定する。
②次回ワーキングから、検討していきたい困難事例等への取り組み課題をあげる。
- 15:42 4. 検討事項
- ①支援センター職員配置と勤務体制について
- ・センター運営日、運営時間の予定と職員体制検討案について説明（室長）
- 案①福祉担当専任案 案②福祉担当交代案 案③福祉担当非常勤案
（ワーキングメンバーより出た意見）
- ・福祉分野は福祉課3係の内容なのか、福祉事務所のイメージなのか？
 - ・3係すべてに詳しい職員も、嘱託職員もない。
 - ・現在も本課では1人から2人職員がほしいくらいの状況である。
 - ・案③で現在福祉課にいる嘱託職員ではなく、新たに嘱託職員を雇う形を検討してみたらどうか。
 - ・どういう業務をやるのかもまだ不明で…。
 - ・生保・障害関係の知識が必要が高いと思われる。
 - ・案②は、交代の職員はケースワークができない。
 - ・自分の係の仕事くらいしかわからない。マニュアル見てできる程度ならできる。
 - ・嘱託で詳しい人の再任用を検討したらどうか。（職員係と検討必要だが）
 - ・福祉生活部にこだわらず、時間外勤務の少ない部から出てもらうことは検討できないか。
 - ・嘱託職員で対応できる業務を選択したらよいのでは。
 - ・業務量見えていないので、土曜日も出勤すべきかわからない。
 - ・土曜日や一人のとき、だれでも何の分野でも対応しなければいけないのではないか。福祉の担当などと考えて配置しなくても、よいのでは。
 - ・保健師、介護、福祉というような割り振りではなく、だれでもできる体制にしていけないと、今後のセンターの職員を決めるにも困ると思う。
- ②話し合った結果を見て、どの案が良いか討議。ワーキングとしての案を決定する。
- （庁内ワーキングで出た案）
- ・勤務体制は月～金。包括は土曜日一人勤務するが、入り口は解放しておかない。
 - ・とりあえず、3月までは嘱託の職員を探す方向で嘱託の人も困らないマニュアルで対応できる受付くらいにしていく。

16:15 ③各課でセンターにおけるケースワークについて不安に思っていること、実際にあったトラブルなどをあげてもらう。

(意見なし)

「相談支援のフローチャート」タタキ台を配布。次回までに係内で検討し、「不安に思っていること」などもでたら、聞いてきてもらうよう依頼。

16:20 4. その他

- ・ヒアリング状況等について報告。

高齢者政策係、障害者福祉係、児童福祉係については受付項目が多く、支所に状況を確認した。それを踏まえて、複雑な説明も必要になる申請受付については、再検討していきたい。今月末までにまとめることになったので、ご協力を。

- ・修正した機能案については、見え消しにして次回までに配布する予定。

- ・マニュアル作りを6月中に始めるので、資料の協力を依頼。

16:32 終了

第6回地域健康医療支援センター整備検討庁内ワーキング会議

平成22年 6月 7日

掛川市役所 3 F 東応接室

- 15:30 1. あいさつ
- 15:33 2. センター整備の進行状況説明（岡本）
- 15:40 3. 本日のワーキングの目的、目標の説明（佐藤）
（目的）
①相談支援のフローチャートへの各係からの意見を出し合う。
②各係から出てきた相談支援の上での問題点を出し合う。
（目標）
①フローチャートを修正して流れの案を決定する。
- 15:42 4. 検討事項
①各フローチャートについて各係から出てきた意見を書き込む。
・途中出てきた問題点を書き出す。
・他にも決めておいた方がよいパターンについてあったら、流れのイメージも含めて提案してもらう。
- 16:15 とりまとめたフローチャートについて、案を確認しながら、問題点についても確認していく。
- 16:25 5. その他
・マニュアル作成について
・次回までに各課各係で検討してきたほしいことについて
○困難事例の連携体制検討について
①流れについての意見があったら、出してもらう。
②投げかけた課題への意見をまとめてきてください。
※次回、事例の流れ、課題についての検討を行います。
・引き続きマニュアル作りのための資料をいただきに廻りますので、よろしくお願いたします。

次回庁内ワーキングは、6月25日（金）15:30～16:30 4F会議室6です！

第6回（仮称）地域健康医療支援センター整備検討庁内ワーキング会議検討事項報告

平成22年 6月7日

掛川市役所4階会議室1-A

- 15:35 1. あいさつ（省略）
- 15:35 2. 東部センター整備の進捗状況説明（榛葉）
- ・レイアウト図にて職員の位置と工事の予定について説明。
- 15:40 3. 本日のワーキングの目的、目標の説明（佐藤）
- （目的）
- ①相談支援のフローチャートへの各係からの意見を出し合う。
 - ②各係から出てきた相談支援の上での問題点を出し合う。
- （目標）
- ①フローチャートを修正して流れの案を決定する。
- 15:42 4. 検討事項
- ①各フローチャートについて各係から出てきた意見を書き込む。
 - ・フロー図（別紙資料参照）
- （ワーキングメンバーより出た意見）
- ーセンター機能について
- ・ワンストップを目的としていたら、センターに決定権を持たせてもよいものは、持たせたほうがよいのではないか。（オムツ券、配食？など）
 - ・決定基準が明確なもの、オムツ券などはその場で交付するようになっており、決定権をもっているものとなる。ヘルパーの派遣など、ケースバイケースの基準が難しい者は、やはり本課による決定が必要と思われる。
 - ・初めの構想では市の職員が責任をもって対応するようになっていたが、委託という話も出ており、そうなると決定権は本課が持っていないといけないと思う。
- ー相談支援のフローチャートについて
- ・フローではセンターからの相談のつなぎ先を決めるだけでよいのではないか。実際に相談のケースによって本課同士で連携していくようにすればよい。
 - ・自殺のフローは精神と同じでよい。
 - ・ひきこもりも含めて担当は障害者福祉係でよいが、まだ保健師で検討中のため、後日聞き取りで修正とすることにした。
 - ・難病のケースで包括が本課につなげず、困っている。本来は保健所の業務なので、「つなぎ先」は保健所としておき、保健所から協力依頼があった課が動くべきだと思う。
- ※細かいご意見はフロー図に加えました。
- 16:15 ②フロー図修正の確認
- 相談支援に対する問題点は特に上がりず。
- 16:25 4. その他
- ・「困難事例の連携体制検討」5事例検討課題付きを配布。次回までに係内で検討し、①課題への意見②流れについての意見をまとめてきていただくよう依頼。
 - ・マニュアルづくり状況報告。各係への資料提供、協力を依頼。
- 16:40 終了

第7回地域健康医療支援センター整備検討庁内ワーキング会議

平成22年 6月28日
掛川市役所4階会議室1-A

- 15:30 1. あいさつ
- 15:33 2. センター機能検討状況説明（松下室長）
- 15:40 3. 本日のワーキングの目的、目標、方法の説明（佐藤）
（目的）
① 困難事例連携の課題について意見を出し合う。
② 各係から出てきた困難事例の流れについての意見を出し合う。
（目標）
① 連携の課題について庁内ワーキングとしての回答を出す。
- 15:42 4. 検討事項
① 各事例について各係から出てきた意見を付箋に書き出す。
・ 課題
・ 流れに対する意見
- 15:55 ② それぞれの場所に付箋を貼る
- 16:05 ③ 付箋をグループ分けにする。
- 16:10 ④ 事例1から意見を確認しながら、意見をとりまとめる。
- 16:25 5. その他
・ 前回検討した相談支援フローチャートについて
・ 次回までに各課各係で検討してきてほしいことについて
○ マニュアル内容の確認について
① 内容について確認し、（赤ペンで）修正してください。
② 内容、説明に欠けているものについて追加資料がありましたら下さい。
※ 次回、マニュアルの検討と受付事務の流れ（メール便等）、課題についての検討を行います。

次回庁内ワーキングは、7月9日（金）15:30～16:30 4F会議室1-Aです！

第7回（仮称）地域健康医療支援センター整備検討庁内ワーキング会議検討事項報告

平成22年 6月28日

掛川市役所4階会議室1-A

- 15:30 1. あいさつ（省略）
- 15:31 2. 東部センター整備の進捗状況説明（松下）
- ・センター機能案図の説明。
 - ・土日祝日対応と職員体制について市長より指示報告。
- 15:40 3. 本日のワーキングの目的、目標の説明（佐藤）
- （目的）
- ① 困難事例連携の課題について意見を出し合う。
 - ② 各係から出てきた困難事例の流れについての意見を出し合う。
- （目標）
- ① 連携の課題について庁内ワーキングとしての回答を出す。
- 15:42 4. 検討事項
- 困難事例5事例についての各課題に対する意見、流れについての意見について付箋に書き出し、グルーピングして話し合う予定だったが、いちいち書かなくてもホワイトボードに書き取るようにとの意見が出て、急遽変更。
- 1事例ずつ課題、流れについて意見を出してもらおう形とした。
- （ワーキングメンバーより出た意見）
- ① 事例1：老老介護と精神障害の複合ケース
- 課題1：困難が発生した場合、会議の音頭をとっていくのはどこが適切か？
- ・ 困難の内容によって・・・父親なら包括、ケアマネ。娘なら福祉で。（気が付いた方が声をかけていく）
- 【検討内容についての意見】
- ・ 架空の事例をやっても実際と違うのでは・・・。
 - ・ もともと各部署の役割が明確でないので考えにくい。
 - ・ センターの中でやりながら考えればいいことではないか。
 - ・ ケースバイケースでフローを作ってもしょうがないのでは？
 - ・ 日によっても状況が変わるのだから、方向変換が必要になる。
- 【ワーキング主催者側の説明】
- ・ 事例はすべて実際包括や高齢者支援課の在宅介護係で対応に苦慮したケースを少し加工したもの。現状の中で在宅介護支援係でも相談先がわからず、抱えてしまうことも多く、実際にセンターが始まってから検討したのでは、体制の検証にまでなかなかつなげない。もちろん、実際にやってみてダメだった。こうすればよかった。ということになって変更していくものだと考えているが、みなさんからのご意見を踏まえて、連携して会議を行い、チームづくりができていく体制としていきたいので、とりあえずの道筋をつけるため、ご意見をいただきたい。
- ② 事例2：金銭面を含む複合ケース
- 課題2：金銭面の問題ケースはセンターで抱えてしまいやすい。どうしていくか！？
- ・ 最終的には生保も検討だが、あくまでも最終手段。早くから会議などには関わっていった方が、いろいろな手段を提供できる。
 - ・ 親戚なども巻き込んで、一番は長男に就労の働きかけをしていくこと。
 - ・ 次男については福祉施設や作業所等の検討をし、金銭の管理もお願いすれば良いと思う日常生活自立支援事業もお金がかかるのでかからない方法を検討していったらどうか。
- （流れ）について

- ・保護司・・・静岡保護観察所の直轄。市は関与していないので、市に情報はない。行政は関わらない。
- ・金銭のキーパーソン必要。生保の係も会議に出席依頼を。
- ③事例3：家族も支援が必要ケース
 - 課題3：ケアマネが夫も含めて支援していくのがベストだが、それができない場合、包括で支援するのか、行政はどこで支援するのか。
 - ・現在、県から難病などに関する要綱を整備するようにとの指示がきているが、いろいろと県側に問題があり、進んでいない。
 - ・難病でも手帳の申請がないと自立支援は使えない。
 - ・病院で手帳の申請などに手間取るケースも多い。病院との調整が必要。
 - ・難病に関する情報は保健所がすべて持っている。
 - ・難病の種類にもより、医師も詳しくない場合もある。地域連携室では保健所や患者会などをしらべ、紹介をしているが、解決が難しいケースが多い。
- ④事例4：介護保険が介入しない場合
 - 課題4：精神が疑われるが、受診の必要性のない方の対応はどこで対応していくか。
 - ・家族に対して説明していく対応は必要。
 - ・何をもって精神？というのか。
 - ・家族は困っているのか？
 - ・障害者支援係としては、問題が起こってからしか対応できない。
 - ・現在も何でもかんでも障害者福祉係に相談に行くケースが多いが、今回のケースのように、地域や家族にはやや迷惑なことがあっても、ご本人なりに自立して頑張っている生活しているような方は、ご家族や地域の理解を得ながら、見守っていく体制をセンターで働きかけていけたらと、東部包括は考えている。
- ⑤事例5：介護・育児の複合
 - 課題5：介護保険の継続が難しいケースで定期的に見守れる先はどこか？
 - ・3歳までは保健予防課。3歳すぎは幼児教育課。問題ケースは家児相や児童福祉係。
 - ・現在も問題ケースは保健師と家児相と児童福祉係で連携して対応している。
 - ・ケース会議で今後どこがどのくらいの頻度で関わるかを決めて、次回会議でその様子の確認や、その後のかかわりの調整を検討していけばよいのでは？（流れ）について
 - ・育児の問題は一時保護も視野に入れることも必要。
 - ・ファミリーサポートなどの利用も考えられる。
 - ・障害者の学童など他にも活用できる社会資源が児童福祉係から提案できる。
 - ・内容について説明し、会議に出席してもらえるか打診しながらいろいろな課のお知恵を拝借して会議を行っていきたい。

16:15 4. その他

前回検討したフロー図修正の説明。

- ・複合したケースがほとんどなので、あまり細かくケースモデルを分けても仕方ないという意見で、4枚にまとめた。

16:20

- ・マニュアルづくり状況報告、修正、追加資料依頼。
（社会福祉係、障害者福祉係、介護認定係、介護給付係分については後日出来次第、持って行く予定）
- ・次回は修正したフロー、事例に対する課題やマニュアルについてのご意見をいただき、検討していく予定。

16:25 終了

第8回地域健康医療支援センター整備検討庁内ワーキング会議

平成22年 7月 9日
掛川市役所4階会議室1-A

- 15:30 1. あいさつ
- 15:33 2. センター機能検討状況説明（松下室長）
・センターでの業務内容と職員体制について
- 15:40 3. 本日のワーキングの目的、目標、方法の説明（佐藤）
（目的）
①相談支援に関する課題について意見を出し合う。
②申請受付に関する各係とのやりとりについて心配していることなどを出し合う。
（目標）
①10月からのセンターの運営に向けての残された課題を出す。
- 15:42 4. 検討事項
①フローチャートについて各係から出てきた意見を出し合う。
・課題
- 15:55 ②マニュアルを見てもらって、心配なことや提案を出し合う。
- 16:10 ③今後検討すべき課題に対する意見をとりまとめる。
- 16:20 5. その他
・前回検討した事例に関するまとめについて
・次回までに各課各係で検討してきたほしいことについて
○マニュアル内容の再確認について
①次回までに修正していただいたマニュアルを作成し送付させていただきますので、再度ご確認いただきたい。
②本日出された課題について係の方のご意見をとりまとめてきていただきたい。
※次回、マニュアルの確認と課題についての検討を行います。

次回庁内ワーキングは、8月9日（月）15:30～16:30 東3F応接室です！

第8回（仮称）地域健康医療支援センター整備検討庁内ワーキング会議検討事項報告

平成22年 7月 9日

掛川市役所 4階会議室 1-A

- 15:38 1. あいさつ（石川課長）
- ・今年度5回の会議でみなさんに検討していただいたお陰で、センターでの業務、連携の方法などがしぼりこめた。
 - ・昨日の市長との会議の中でセンターへの期待の大きさをひしひしと感じたところである。
 - ・10月1日に東部センターのOPENが決まったが、やるべきことがまだ山積している。今後もぜひご協力をいただきたい。
- 15:40 2. 東部センター整備の進捗状況説明（佐藤）
- ・昨日土日祝日対応と職員態勢について市長と打ち合わせた。部長から福祉課の大変忙しい様子の報告もあり、職員態勢は本庁の業務に支障のない形で進めたいとは考えている。
- 15:41 3. 本日のワーキングの目的、目標の説明（佐藤）
- （目的）①困難事例連携の課題について意見を出し合う。
②各係から出てきた困難事例の流れについての意見を出し合う。
- （目標）①連携の課題について庁内ワーキングとしての回答を出す。
- 15:42 4. 検討事項
- ①フローチャートについて各係から出てきた意見を出し合う。また、マニュアルなどを見てもらって今後心配なことや提案を出し合う。
（ワーキングメンバーより出た意見）
- ・病院から在宅へつなぐことが主な業務と考えているのに、細かい申請受付のことまで受けていると大変ではないか！？申請窓口より、病院からの連携に主をおいていくべきだと思う。
 - ・申請が減ると福祉課とのかかわりは薄くなるように思う。
 - ・一人でいろいろな課が関わる必要があるケースは多い。
- （ワーキング主催者側の説明）
- ・ケースに関わるうちに申請が必要になるものも多い。
 - ・検証作業の中で、必要な申請と対象がない申請が集計できると思うので、また今後ご検討いただきたい。
- ②今後心配されること
- ・メール便の付け書はあったらいいと思う。どうしても出した、もらっていないなどでトラブルになりやすい。
 - ・大須賀支所で使っているものを参考にしたらどうか！？
 - ・各係ごとに作成してつける。
 - ・相談受付票を各係とも共有できるものにしてほしい。
 - ・内容的にもどんな情報がほしいかが含まれているか、各係にも提示して次回検討していきたい。
 - ・子ども医療費の関係の事務量の検討が必要。・・・児童福祉係と検討していく。
- 16:05 5. その他
- 前回検討した事例のまとめの説明。
- 16:10
- ・マニュアルはそれぞれの係と繰り返し、修正をさせていただきたいと思っている。
 - ・メール便の付け書と相談受付票の案を作成し、配布予定。次回、それに対するご意見等話し合っ行ってきたい。
- 16:15 終了

第9回地域健康医療支援センター整備検討庁内ワーキング会議

平成22年 8月 9日

掛川市役所東3階応接室

- 15:30 1. あいさつ
- 15:33 2. センター機能検討状況説明（松下室長）
・センター運営方針と職員体制について
- 15:40 3. 本日のワーキングの目的、目標、方法の説明（佐藤）
（目的）
①メール便についての意見、心配していることを出し合う。
②相談受付票の内容についての意見を出し合う。
（目標）
①今後のワーキングについて計画する。
- 15:42 4. 検討事項
①メール便の付け書やメール便の方法についての意見を出し合う。
- 15:50 ②相談受付票についての意見を出し合う。
- 16:10 ③今後検討すべき課題に対する意見をとりまとめる。
今後のワーキング案
- 16:25 5. その他
○マニュアル内容の再確認および申請書等の準備について
①10/1からの東部センターで必要な分の申請書等を適当な枚数ご用意ください。9月に電話連絡をしてから、取りに伺います。
②今後センターとのやり取りで困ったことなどありましたら、ワーキングで取り上げ、検討していくようにしていきますので、地域医療推進課まで随時ご連絡ください。

10月以降の庁内ワーキングは、榛葉が担当します！

第9回（仮称）地域健康医療支援センター整備検討庁内ワーキング会議検討事項報告

平成22年 8月 9日

掛川市役所3階東応接室

- 15:32 1. あいさつ（松下室長）
- 15:33 2. センター機能検討状況、運営方針、職員勤務体制の説明（松下室長）
- ・建設の目途が漸く立ち、一応10月1日10時OPENの予定となりました。
 - ・職員の4人目が決まらず、このままだと3人になるかもしれない。木曜日のフレックス、土日祝日の電話転送システムによる携帯電話当番の件もあるので、できるだけ、4人体制でいきたいとは考えている。
 - ・センター職員会議の中で、医療依存度の高い方への対応についてや、在宅医療の限界点、病院との連携など、課題が多くでてきており、今後はこれについて少しでも何とかしていきたい。
- センター建設について（岡本）
- ・研修室について夜間、休日地域に開放していく方針で、通路等の用意をした。駐車場が日中職員のもので埋まるので、平日の日中研修等の計画は難しいことを承知しておいてほしい。
 - ・職員の執務スペースも非常に狭いため、必要最低限のものしか置くことができない。
- 15:41 3. 本日のワーキングの目的、目標の説明（佐藤）
- （目的）①メール便についての意見、心配していることを出し合う。
②相談受付票の内容についての意見を出し合う。
- （目標）①今後のワーキングについて計画する。
- 15:42 4. 検討事項
- ①メール便の付け書やメール便の方法についての意見を出し合う。
- ・木曜日など日によっては、10時以降に廻る日もありうる。
- （ワーキングメンバーより出た意見）
- 毎日届けば、時間にはこだわらなくても良い。
 - ・メール便は、センターへ戻る分も必要。
 - ・1階の支所行きのケースの横にケースを置いて、共有して入れるようにすれば良い。
 - ・封筒でのやり取りは、出し忘れで捜索することがあるので、クリアケースにテプラで色違いのものを作成するのがよいと思う。
 - ・大須賀支所のものを参考にすると良い。
 - ・認定係で見せてもらえる。
 - ・申請日が大切になってくるので、受付印には日付印が必要。
 - ・欄が設定されていない書類も書類の隅に受付印を押すこと。
- ②相談受付票について
- （主催者側の説明）
- ・先日配布してあった案より、さらに個人情報の承諾欄を設けた。（取り忘れを防ぐため）
 - ・生活相談、措置入所の相談はこれ以外にそれぞれの情報収集用の用紙が付く。
- （ワーキングメンバーより出た意見）
- ・生活相談の場合はどこで、本課につなぐかの検討が必要。同じことを本課で聞きなおすことがないようにしていきたい。→社会福祉係と調整予定。
 - ・いくつかの係に情報提供され、困難ケースの検討会を持つ場合、どこに連絡がいつているかが、わかれば、本庁内で事前に横の連絡がとれるので、どこに提供したかが、わかるようにしてほしい。→対応を書く欄に複数係名が書けるように変更したい。

- ・異動→移動の打ち間違い訂正。
- ・内容については実際に使ってみて、ワーキングで修正していく方が良い。

16:10 ③今後検討すべき課題に対する意見を取りまとめる。

今後のワーキング案について

(ワーキングメンバーより出た意見)

- ・運営が始まれば、必ず問題が出てくると思うので、随時よりも定期的に集まって、問題の対策を考えていったほうが良いと思う。
- ・前月の状況を報告しながら、毎月ということで、11月から計画を。
- ・もし、早急に解決しないといけない課題があれば、緊急招集すれば良い。

16:25 5. その他

- ・マニュアルについて、完成している係とそうでない係がある。それぞれ連絡をさせてもらい、完成させていきたい。10月以後は、各係長さん宛てにエクセルデータをメールしておくので、修正があった際は各係でマニュアルを修正し、センターにメールしてほしい。
- ・申請書の用紙を各係で用意してほしい。9月中に取りに伺う予定。
(ワーキングメンバーより出た意見)
- ・申請書がHPからダウンロードできるものは、それを利用してほしい。
→たくさん必要なものは、印刷をお願いしたい。
- ・10月以降の会議は榛葉が担当しますので、よろしくお願いします。

16:35 終了